

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

学校名	佐賀市立金泉中学校
1 前年度 評価結果の概要	保護者アンケートから、おおむね良好な結果を得ることができた。新型コロナウイルス感染症対応のため、今年度もPTAや地域に対して学校行事等への協力要請ができない状況があった。また、学校行事等への参加についても大きく制限せざるを得なかった。より効果的な方法を模索しながら、生徒の出番・役割・承認のサイクルを生かせるよう、職員は生徒の指導に一丸となって取り組んできた。また、校内研究において、教育課程や評価について各教科ごとの取組を共有化し、今後の評価の在り方の基盤を築くことができた。定時退勤についての意識は昨年度よりも高くなっており、職員の時間外勤務時間の削減については、数値目標を達成することができた。しかし、学校行事等の精選および職員の多忙化の解消については、数値目標に届かなかった。職員の健康維持のためにも、働き方改革を推進し、職員の多忙化解消に努めたい。
2 学校教育目標	元氣あふれる学校 ～金泉中学校生徒として、主体的に学び、人の気持ちのわかる人の育成 さらに感動！～
3 本年度の重点目標	① 豊かな心を育む教育の推進 ② 確かな学力を育む教育の推進 ③ 健やかな体を育む教育の推進 ④ 保護者や地域から信頼される学校づくりの推進 ⑤ S D G s (Sustainable Development Goals)(持続可能な開発目標)の取り組み

4 重点取組内容・成果指標				主な担当者
(1)共通評価項目				
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに共通実践し、さらに教科部会で個人のマイプランの取組を図る。	教頭
	○単元計画・振り返りシートを活用した金泉授業の実践	○授業毎の振り返りと自己調整力の向上により、主体的に学びに向かう生徒が増え、各教科全国・県学習状況調査の正答率が県平均を上回る。 ○学校評価アンケートで、「授業の振り返りを通して、どんな学習が必要かが分かり、家庭学習や復習をすることができた。」、「各教科のどの観点の方がついているか、また課題であるかが自分で行った。」という問いに対して肯定的に回答した生徒90%以上を目指す。	・単元課題(単元を貫く問い)や授業の学習内容・めあてを提示し、振り返り記入欄を設けた単元計画・振り返りシートを各教科各単元で作成し、単元学習後に3観点の評価を行う。 ・単元計画・振り返りシートを活用した金泉授業を各学年で実施する。 ・ハフォーマリストとその評価についての情報交換会を校内研究会で行う。	研究主任
	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校評価アンケートで、「道徳の時間やお話しタイムでは自分の行動を振り返って、自分の生き方を見つめなおしているか」という問いに対して肯定的に回答した生徒85%以上を目指す。	・道徳の時間を通して、命を大切にすること、思いやりと感謝の気持ちを育む心、規律やルールを守る心を養う授業を行う。 ・学校行事前後の道徳の時間において、活動を有意義にするための心を養う内容を取り扱う。また、活動後に自分や他者を承認する場を設け、自他に目を向ける中で、多様なものの見方に触れ、心豊かな生き方の追求を目指す。	道徳担当
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○学校評価アンケートで、「学校はいじめを許さない雰囲気作り」に努めていると思うか」という問いに対して肯定的に回答する生徒、保護者ともに90%以上を目指す。 ○毎月の生活アンケートで、「楽しい学校生活が送れた」と答える生徒90%以上を目指す。	・生徒朝会での「いじめ0宣言」の復唱、全校朝会やお話タイムの実施でいじめを許さない環境を作り、毎月の生活アンケートの実施で早期認知・対応を行う。 ・開発的生徒指導の強化を図り、生徒一人ひとりに出番を与えるとともに自信をもたせ、正義感を育みながらいじめが起きない環境づくりを行う。	生徒指導主事
●心の教育	●生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●学校評価アンケートで、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」という問いに対して肯定的に回答した生徒90%以上を目指す。 ●◎学校評価アンケートで、「将来の夢や目標を持っている」という問いに対して肯定的な回答をした生徒80%以上を目指す。	・生活ノートでの交流などにおいて、生徒が自己効力感をもてるような承認をする。 ・各教科だけでなく道徳や総合的な学習において、児童生徒がキャリアの見通しをもてるような取り組みを計画的に行う。	学年主任
	○人権・同和教育の推進	○学校評価アンケートで、「差別をしない、許さない事の大切さに気づくことができたか」という問いに対して肯定的に回答した生徒80%以上を目指す。	・部落問題学習の実施や人権週間の取り組み等で、人権意識を高める。 ・人権・同和教育に関する職員研修の充実(確実な実施)を図る。	人権・同和教育担当
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●学校評価アンケートで、「健康に良い食事をしている」という問いに対して肯定的に回答する生徒95%以上を目指す。 ○学校評価アンケートで、「朝食を食べて登校している」という問いに対して肯定的に回答する生徒80%以上を目指す。	・各学年の指導目標に合わせた題材で栄養士による講話を行い、食事の重要性について意識を高める。 ・生徒会と協力し、生活状況調査、食に関する意識調査を実施し、朝食摂取を推進する。 ・保健だよりや給食だよりを通して、子どもの食の問題点を提起し、家庭における食生活改善への関心を高める。	養護 食育担当
	○安全に関する資質・能力の育成	○学校評価アンケートで、「避難訓練、安全指導教室、薬物乱用防止教室により、命を大切にしようという意識が高まったか」という問いに対して肯定的に回答する生徒90%以上を目指す。 ○生徒の生活事故・交通事故の発生割合が前年度以下を目指す。	・命の大切さを実感できるよう外部機関を活用した性に関する指導、食育教室や薬物乱用教室を開催する。また、より生徒の理解を深めるために、保健だより等の各種通信において講演等の内容を家庭に届ける。 ・生徒の危険回避能力や危険予知能力を向上させるとともに、日頃からの指導や地域・家庭・関係機関との連携を図る。また、避難訓練は火災避難訓練と地震避難訓練を各年で行っていく。	養護 安全担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○上期、下期で時間外在校等時間の平均が前年度以下を目指す。	・毎週水曜日の定時退勤日の徹底を行う。 ・毎日の業務記録票記入による勤務実態把握と分析を行う。	教頭
	○業務改善・教職員の働き方改革の推進	○学校評価アンケートで「学校行事等の精選および、職員の多忙化の解消ができたか」という問いに対して肯定的に回答した教職員80%以上を目指す。	・学校行事の精選、校務分掌の効率化を図るとともに、職員間でのサービサーの情報共有を促進する。 ・取組の共有化を図り、職員の意識向上につなげる。	教頭
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	
○小中連携	○9か年を見通した小中連携の推進	○学校評価アンケートで、「学校は『進飛学園』として小中連携して共通の指導を行い、9年間という期間で子どもの育成に取り組んでいるか」という問いに対して肯定的に回答した保護者80%以上を目指す。	・金立小・久保泉小・本校の進飛学園教育「めざす15歳の春」を共有し、系統的な教育活動を展開する。 ・授業公開を年間3回以上設定し、共通課題・実践についての意見交換を行う。 ・進飛学園教育合同研修会を開催し、各種研修会や児童生徒理解を深め、個に応じた具体的指導の手立てについて協議する。 ・進飛学園PTAの行事を通じ、中学生と小学校との交流を深め、中1ギャップを軽減し、スムーズな移行を図る。	
○地域連携	○学校運営協議会をいかした地域との連携の充実	○学校評価アンケートで「地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思う」という問いに肯定的な回答をする生徒80%以上を目指す。	・生徒が地域行事に積極的に参加できるように、学校運営協議会の中で情報共有する。 ・生徒のボランティア活動に対する意識を高めるために、保護者・地域の方との連携を図る。 ・地域の方をゲストティーチャーとして招聘したり、職場体験活動で事業所等との交流を行う。	教頭 教務主任

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育